

月刊しばうら

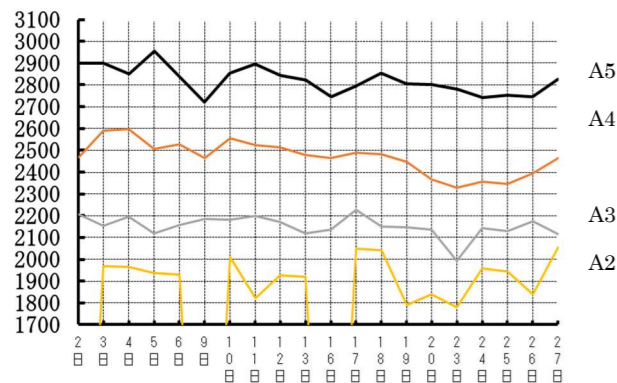
2018年5月号

大動物事業部

<4月の相場動向>

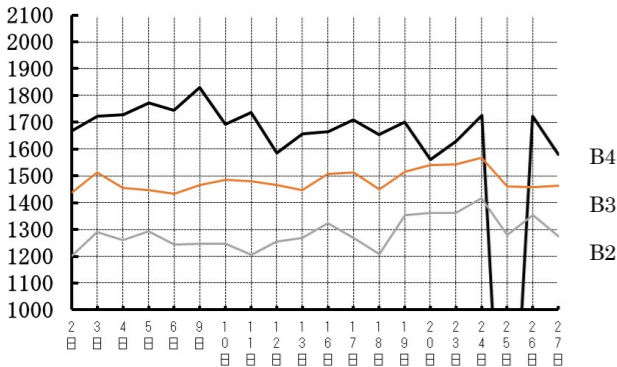
和牛去勢 A5 が前月比 37 円高の 2,832 円（前年同月比 35 円安）、A4 が 47 円高の 2,481 円（同 72 円安）、A3 が 26 円高の 2,157 円（同 98 円安）、A2 が 36 円高の 1,932 円（同 50 円安）となった。交雑牛去勢は B4 が 85 円高の 1,692 円（同 59 円安）、B3 が 76 円高の 1,494 円（同 113 円安）、B2 が 80 円高の 1,289 円（同 77 円安）となり、枝肉相場は年度替わりで補充買い、行楽需要、大型連休に向けた手当て買いなどで和牛は強もちあい。交雑牛も堅調な相場となったが、和牛・交雑牛ともに仕上りの良い枝肉から引き合いの強い動きとなった。

和牛去勢 日別相場表（4月）



和牛去勢月平均	前年同月比	前月比
A5 2,832 円	98.8%	101.3%
A4 2,481 円	97.2%	101.9%
A3 2,157 円	95.7%	101.2%
A2 1,932 円	97.5%	101.9%

交雑去勢 日別相場表（4月）



交雑去勢月平均	前年同月比	前月比
B4 1,692 円	96.6%	105.3%
B3 1,494 円	93.0%	105.4%
B2 1,289 円	94.4%	106.6%

乳牛去勢月平均	前年同月比	前月比
B3 上場なし		
B2 1,033 円	99.5%	104.3%

<5月の全国出荷頭数予測>

家畜改良センターの個体識別情報による18年3月末の牛の飼養頭数は前年比0.3%増の385万3,643頭で、17年3月から13ヶ月連続で増頭となっている。黒毛和種(163万657頭)は、2%台の増加が続いている一方で、交雑種(52万4,916頭)は、17年10月までは増加基調であったが11月の前年並みを境に、4ヶ月連続の減少となっている。ホルズ去勢牛(28万5,515頭)は、5~6%の減少が続いている。

農畜産業振興機構による5月の出荷予測頭数は、前年比1.7%増の8万2,000頭と予測している。品種別にみると和牛は3.4%増の3万4,000頭、交雑種は4.2%増の1万9,700頭、乳用種は2.0%減の2万7,100頭としている。東京食肉市場の5月のと畜頭数は7,000頭を予定しています。

<5月の牛枝肉相場見通し>

月初めの大型連休中の消費量にも影響されるが、ゴールデンウィーク明けは徐々に引き合いが鈍化するとの見方が強い。和牛は外食需要が堅調な状況にあり、また、ロイン系を主体に輸出も増加傾向にあるが、G.W以降、需要が落ち着くなかで、品質と歩留まりによる格差が広がる可能性が十分に考えられる。量販店では輸入ビーフの販促を引き続き強めており和牛のスソ物や交雑種の引き合いは、弱気配の相場が予想される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,750~2,850	B4	1,600~1,700
A4	2,400~2,500	B3	1,350~1,450
A3	2,100~2,150	B2	1,200~1,250
A2	1,800~1,900		
乳牛去勢			
B3	1,100~1,150		
B2	900~1,000		

<5月の牛肉輸入量予測>

財務省が発表した貿易統計による3月の輸入牛肉通関実績によると、前年同月比2.8%増の4万4,781tとなり、堅調な国内需要を反映して増加傾向にあり、チルドは前月から2,400t、フローゼンも5,100tの増加となった。

農畜産業振興機構の予測による5月の牛肉輸入数量は、前年比7.8%減の5万2,000tと予測。チルドは、豪州産および米国産ともに輸入量の増加が見込まれ、前年同月比1.6%増の2万3,000t台で推移すると予測している。一方、フローゼンは、前年同月比の輸入量が多かった影響などで14.2%減の2万9,000tと大きく下回ると予測している。

輸入牛肉通関量		3月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	9,980	9,498	105.1%
	米国	11,342	11,613	97.7%
	その他	1,050	977	107.5%
	合計	22,372	22,088	101.3%
フローゼン	豪州	16,553	11,059	149.7%
	米国	3,331	7,669	43.4%
	その他	2,525	2,736	92.3%
	合計	22,409	21,464	104.4%

単位：t

出典：食肉速報

小動物事業部

農畜産業振興機構によると2月の豚肉需給量は、生産量が7万1,805t（前年同月比100.1%）、輸入量が6万7,889t（同99.1%）、総供給量は13万9,694t（同99.6%）と減少した。

一方、推定出回り量は、国産品7万1,194t（同99.8%）、輸入品は6万3,393t（同86.4%）、合計で13万4,587t（同93%）と前年同月を下回った。この結果、推定期末在庫は国産品1万7,111t（同97.2%）と、輸入品16万4,705t（同107.3%）、合計18万1,816t（同106.3%）と増加した。

3月の全国と畜頭数は前年同月比1.8%減の141万7,707頭と前年より減少した。一方、同月の豚肉通関実績は、総量で7万7,868t（95.8%）と前年同月から減少した。チルドは3万4,152t（同93.7%）と減少。内訳は、米国が1万8,428t（同91.1%）、カナダは1万4,765t（同97.8%）、メキシコが956t（同84.9%）。一方、フローゼンは4万3,716t（同97.5%）で内訳は、デンマークが9,030t（同104.8%）、スペインが9,984t（同124.1%）、メキシコが6,416t（同87.1%）、米国が4,718t（同87.4%）、カナダが2,564t（同53.4%）、特にカナダはコスト高もあり大きく減少した。

<4月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
2日	64,000	423	402	714
3日	65,500	455	428	770
4日	64,500	459	415	742
5日	67,100	444	410	752
6日	63,200	462	423	934
9日	63,200	432	415	607
10日	65,600	447	416	893

上旬の全国と畜頭数は1日あたり6万4,728頭、当市場は平均773頭であった。

年度が変わっても全体的な需要はそれほど回復せず、相場は上昇とはなっていない。先月に続いてロイン系、バラの荷動きは悪い。しかし、相場の安値が続いていることから、一部では輸入物からのシフトもみられる。新学期が始まったことにより、学校給食に向けた需要もあるが、ウデに比べてモモの引き合いは弱い状況。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
11日	60,700	454	416	727
12日	67,300	438	414	753
13日	64,900	456	431	931
16日	64,900	458	438	632
17日	66,100	503	468	702
18日	63,300	467	447	702
19日	64,900	470	456	594
20日	65,800	487	481	850

中旬の全国と畜頭数は1日あたり6万4,735頭、当市場は平均736頭であった。

荷動きは鈍い状態が続き400円台の上物相場が続いたが、17日には約2か月ぶりとなる500円を超える上物相場となったが連休に向けた手当てにより引き合いが強まったことによる相場上昇というよりは、上場頭数が多くない中で銘柄、産地指定の購買が多かったことによる一時的な上昇であった。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
23日	65,600	490	484	754
24日	66,900	506	497	905
25日	68,100	505	489	820
26日	68,000	508	497	716
27日	69,300	537	533	1,015

下旬の全国と畜頭数は平均1日あたり6万7,580頭と前年を上回った。当市場は平均842頭であった。

GWへ向けた最後の手当て買いにより相場は上昇傾向となり、全体的に堅調な荷動きとなった。ロースは輸入物同様引き合いが強く、ヒレ、カタロースも良化傾向となっている。スソ物はウデの荷動きはやや鈍いものの、モモは比較的締まった状況となっている。一方、バラは気温の上昇とともに引き合いが弱まっていたが、国産にシフトした特売が増えたことにより徐々に動き始めてきた。

<5月の豚枝肉相場見通し>

農水省による5月の全国と畜頭数予測では、135万7,000頭（前年同月比102%）、一日当たりの頭数は約6万4,619頭（21日稼働）と見込んでいる。当市場の5月の集荷予定頭数は1万6,500頭となっており、一日当たりでは約785頭の見込みである。

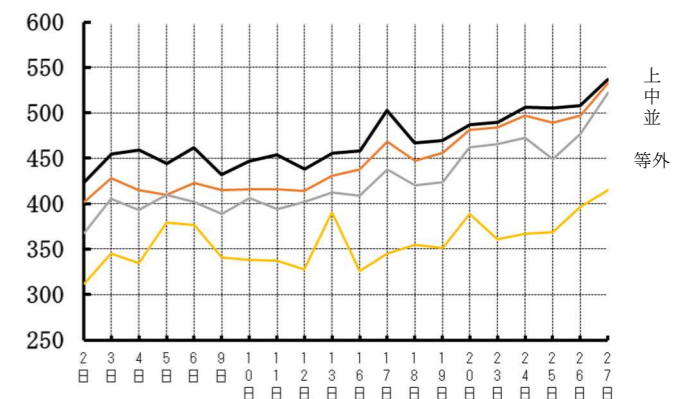
また、農畜産業振興機構によると5月分の豚肉輸入見込数量は、総量で7万2,400t（前年同月比95%）の予測となっている。内訳はチルドが2万9,500t（同105%）、フローゼンは4万2,900t（同89%）の予測である。

5月は連休中の荷動きにもよるが、連休明けは補充買いが見込まれる。連休明け後は若干頭数が多いものの、下旬に向かって出荷頭数は6万頭前後まで落ち込むとみられる。

一部産地では4月が例年以上に気温が上昇したことで増体が良く、出荷頭数が多めとなった為、5月はその反動が予想される。昨年は600円台まで一気に上げてきた。

以上のことから当市場の上物平均価格は530円前後、中物平均500円前後と予測する。

豚 日別相場表（4月）



出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしく願いいたします。

東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL <http://www.tmmc.co.jp/>